

# 公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2020 年度

事業計画



わたしが変わる。  
未来が変わる。

## 2020年度 ガールスカウト日本連盟 事業計画

### 日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

### 日本連盟 2020年のビジョン

すべての少女と若い女性が声をあげ、よりよい社会にするために行動を起こす

### ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

#### ガールスカウトは

**少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、  
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、  
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。**

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。日本では100年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性とその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

使命、ビジョンを達成するために 2018 年～2020 年の戦略計画を次のように決めました。2018 年からの事業計画は、この計画に則って進めていきます。また、戦略計画は、日本のガールスカウトすべてで取り組むことにより、ゴールに近づきます。県連盟、団での取り組みを共に進めてまいりましょう。

## 2018－2020 ガールスカウト日本連盟戦略計画

### 戦略計画のゴール：

- ゴール 1 少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する
- ゴール 2 少女と若い女性が社会を変える力をつける

### 戦略テーマと目標：

テーマ	目標
① 運動にかかわる仲間の拡大	2020 年に会員数 4 万人を実現する
② 社会に対するガールスカウトの「はたらきかけ」を拡大	2020 年まで毎年 100 件、コミュニティに変化をもたらす「プロジェクト」を実施する
③ 活動を持続するための財政基盤の強化	2020 年までに収支差額 0 円を実現する
④ 100 周年事業を契機としたガールスカウト運動の強化	・現会員全員が 100 周年事業に参加する ・10 万人のガールスカウト経験者が声をあげる

## 2020年度 事業計画

### 日本のガールスカウト運動 100周年事業

2020年、いよいよ日本のガールスカウト運動が始まって100周年の年を迎えました。

100周年プランを推進するにあたり、全ての会員が関わりを持ってモチベーションを高めていくことを目指すとともに、これからの100年に向け、今まで築いてきた力を生かし、社会に変化をもたらすガールスカウトとして、歩み続けられるよう取り組みを進めます。



事業名	期日・場所・内容など
コミュニティアクション チャレンジ 100 (CAC100) アワード	エントリー：随時受付 審査対象：5月6日（水・祝）時点報告 表彰式：2020年10月11日（日）
100万人とつながるキャンペーン	年間
100年誌	2020年9月完成予定
100周年記念ディナー	2020年10月10日（土） 明治記念館
国際ガールズメッセ テーマ：わたしの声から広がる世界	2020年10月10日（土）・11日（日） 国連大学、スペース オー
インターナショナルキャンプ “Discover WOW” テーマ：Girls can change the world	2021年3月～2022年3月の期間で開催 全体実行委員会、現地実行委員会による準備
100周年記念バッジ	2019年度取り組み開始 目標取り組み者数：15,000人が取り組む
100周年に向けた資金調達活動（ファンドレイジング）	県連盟によるファンドレイジングの促進
100周年特設ホームページ 100周年の周知拡大	新規情報を随時更新

## 教育プログラム

「リーダーシップ育成とチェンジエージェントとして行動する」を達成するために

- ・年少部門の良質なプログラムが実施できるよう3つのポイントを意識し、育成目標が達成されるよう公式ホームページ（会員向け情報）に集会例を掲載する。
- ・年長部門からユース年代にかけて、社会に影響を与えるためのプログラムを充実させる。
- ・多様な価値観を理解し、行動を起こすことができるようにする。
- ・SDGs への理解を深め、さまざまな活動をジェンダー平等の視点と関連付けて取り組むことができるようにする。

特に、コミュニティアクション チャレンジ 100 を推進し、少女と女性の視点に立ったよりよい社会となるよう取り組みを進めます。

(注： **W** 世界連盟プログラム **AP** アジア・太平洋地域プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
年少部門の教材開発	集会例サイトの普及
レンジャー年代： 全国キャンプ	キャンプ名未定 9月19日（土）～9月22日（火・祝） 戸隠ガールスカウトセンター（野営） 40人程度
レンジャー年代： 全国事業（仮称）	事業名未定 11月21日（土）～11月23日（月・祝） 国立オリンピック記念青少年総合センター 60人程度
地区シニア部門事業	1地区に対し、50,000円を助成 FBM*やVAV**、またはSDG5を含めたSDGsをテーマとして取り組む
国際理解支援事業	海外研修渡航費補助：総額100万円
Greener×Greener II	環境プログラムの取り組みとして、年間・全国国内の活動推進
<b>W</b> Stop the Violence (STV***) キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STV バッジオンラインプログラム取り組みの促進（キャンペーンの実施者を増やす）</li> <li>・STV バッジオンラインプログラムを改定する（ジェンダーにフォーカスしたもの）</li> <li>・VAV**プログラムの実施の促進 一般対象のプログラム実施</li> <li>・高校生意識調査</li> </ul>

	事業名	期日・場所・内容など
W	Free Being Me (FBM*) 第2段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大好きなわたし」「行動編」プログラムの実施促進 パッケージプログラムの活用により、団での取り組み促進（スカウト対象プログラム及び入会促進のための体験プログラム、保護者対象プログラム）</li> <li>・県連盟での指導者養成・育成 一般対象のプログラム実施（ダヴとの協働）</li> </ul>
	オリンピックバッジの取 り組み促進	団での取り組みの促進、世界での取り組み促進
	防災・減災教育	防災マイスターアクティビティ集を活用した団でのプログラムの促進 体験活動、一般を対象としたプログラムの実施
	SDGs への取り組み	ガールスカウト活動の全活動を SDGs と連動させて実施 SDGs バッジ取り組みの促進
AP	ミャンマー連盟 との協働事業	ユース年代対象 (Reach Out Project) 2019年9月からの取り組み 2020年10月国際ガールズメッセの1ブースとしてミャンマー連盟からのメンバーを迎える
	ワールド シンキングデイ	2021年2月22日(月)・全国 テーマ：ピースビルディング(平和構築)
	戸隠ガールスカウト センターを活用した 教育の実践	4月25日(土)～11月9日(月)
	教材等の出版・販売	年間
	教育・指導者委員会	年間

注) FBM\* : Free Being Me      VAV\*\* : Voices Against Violence      STV\*\*\* : Stop the Violence  
STV と VAV の関係について : Stop the Violence キャンペーンは、少女に対する暴力をなくすキャンペーンで、世界連盟全体で取り組んでいます。このキャンペーンには教育プログラムがあり、Voices Against Violence みんなでつくる 差別と暴力のない世界プログラムがそれにあたります。日本連盟では、VAV で扱う 8 つの暴力の中にもあるデートDV について学べるように、独自に STV バッジを設けています。

## 成人のトレーニング

少女と女性のリーダーシップ開発をおこない、ジェンダーバイアスに気付きチェンジエージェントとして行動する少女と女性を支援できるリーダー、トレーナーの育成・養成を充実させます。(注：**W** 世界連盟プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
トレーナー対象 トレーニング	トレーナーセミナー 9月19日(土)～9月21日(月・祝) 戸隠ガールスカウトセンター 12月5日(土)～6日(日) KOKOPLAZA(大阪) 予定 2021年2月6日(土)～7日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター トレーナーの单元I(オンライン) VAVアンバサダー対象相互研修(オンライン)
<b>W</b> Stop the Violence キャンペーン 指導者の養成・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VAV指導者研修会全国7会場で実施</li> <li>・全国で2時間研修(VAV入門編)の実施を促進する</li> <li>・ジェンダーに関する理解が促進するように講習資料共通教材を修正</li> </ul>
ガールスカウトトレーナー認定講習会・審査会	2021年1月10日(日)～1月11日(月・祝) 国立オリンピック記念青少年総合センター
プログラムトレーナー認定審査会	2021年1月9日(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター
トレーナー養成・育成勉強会	日程・会場調整中
海外研修本部派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WAGGGSプログラム(ヘレンストローセミナー)等へ成人会員の派遣</li> <li>・第37回世界会議派遣</li> <li>・アメリカ連盟イベント</li> </ul>
リーダーへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材開発</li> <li>・ホームページ充実</li> </ul>
リーダー養成講習の開催	全国
リーダー養成講習・指導者研修指導者派遣	随時
トレーナーへの支援	年間
成人トレーニング委員会	年間
指導者養成について検討する会	年間

## 組織と運営

都道府県連盟の現状を把握し、分野ごとの成果・課題の確認を毎年おこない、課題解決に向けた取り組みを支援・拡充していきます。

「Girl Scouts' News」を活用し、運動にかかわる仲間の拡大に努めます。

事業名	期日・場所・内容など
連盟長会議	11月14日（土）～11月15日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター 各都道府県連盟より2人
新任連盟長研修	6月21日（日） ガールスカウト会館
都道府県連盟支援	随時 都市圏連盟（首都圏、関西圏）支援
組織・運営アドバイザーグループの設置	年間
顧問会	期日未定 ガールスカウト会館
評議員会	12月12日（土） ガールスカウト会館
理事会・理事連絡会	理事会5回／理事連絡会6回
理事研修	9月5日（土）～9月6日（日） ガールスカウト会館
監査	5月2日（土） ガールスカウト会館
第92回定時総会	5月23日（土） ガールスカウト会館
第37回世界会議 代表派遣	7月12日（日）～7月18日（土） 会期7月13日（月）～7月17日（金） ウガンダ カンパラ
ガールスカウト 推進議員連盟総会	未定
地域支援事業	年間 ガールスカウト運動を推進する事業
戦略検討特別委員会	年間
『Girl Scouts' News』 vol.7、vol.8 発行	年2回 全会員対象
事務局の強化	年間



## 会員

「100万人とつながるキャンペーン」「春の体験集会」「おやこでチャレンジ」「ガールスカウトの日」を軸に、一人でも多くの少女と女性のかかわりを深め、ウェブ/SNS を活用した広報と連動させて、現会員の継続率の向上と運動にかかわる仲間の拡大を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
おやこでチャレンジ (秋入会促進事業)	全国
春の体験集会 (春入会促進事業)	全国
ガールスカウトの日 の促進	全国
会員継続の支援	年間
会員データベースの活用	年間
会員増のためのデータ分析	
新しい形のガールスカウト 活動のあり方を考える会	年間
表彰	功労章、永続奉仕章、感謝状等

## 社会との関係

社会に対し、ガールスカウトの統一したブランドイメージの発信、および、SDGs の発信を団・県連盟と共におこない、そのための支援をします。

外部からのアクセス増大や会員の利便性に配慮した公式ホームページの改善のほか、SNS などを使い分け、認知度の更なる向上、拡大を進めます。社会とのコミュニケーションを一層深め、他団体・企業との協働を進めることで、社会への影響力を高めます。

事業名	期日・場所・内容など
社会への発信のための 全国活動	5月22日(金) ガールスカウトの日 全国一斉で実施
	10月11日(日) 国際ガールズ・デー (国際ガールズメッセ)
	2021年2月22日(月) ワールドシンキングデイ
KIZUNA Day	2021年3月11日(木)
広報イベント/ 広報キャンペーン	年間
ガールスカウトのPR	年間
広報資料の作成	年間
ホームページ等の運営	年間
SNS の活用	年間
社会との連携	年間

事業名	期日・場所・内容など
他団体との連携	年間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等での VAV プログラムを活用した出前授業の実施</li> <li>・デート DV 防止全国ネットワークとの連携</li> <li>・ジョイセフとの協働（リプロ関連）</li> <li>・マイクロテクノロジーとの協働事業実施（STEM 関連）</li> <li>・ケアインターナショナル・ジャパンとの協働事業（Walk in Her Shoes ジュニアアンバサダー）</li> <li>・防災科学技術研究所（防災）</li> <li>・NTT 東日本、公衆電話会（防災）</li> <li>・損害保険協会（小学生の防災探検隊マップコンクール）</li> <li>・ワコール（つぼみスクール）</li> <li>・プラン・インターナショナル・ジャパン（読書感想文コンクール）</li> <li>・内閣府国際交流事業への派遣（推薦）</li> </ul>
調査	少女・女性に関する調査

## 財政

100 周年事業のための資金調達と共に、日本のガールスカウト運動が持続可能となる財政基盤の確立を引き続き目指します。

日本連盟財政計画については継続的な検討をすすめ、第 3 次財政計画（2021-2023 年）を戦略計画と時期をあわせて策定し財政の健全化を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
ガールスカウト会館の運営	年間
戸隠ガールスカウトセンターの運営	春期利用：4月25日（土）～7月10日（金）
	夏期利用：7月23日（木・祝）～7月26日（日） 8月1日（土）～8月24日（月）
	秋期利用：9月1日（火）～11月9日（月）
助成金の獲得	年間
寄付金の拡大	一般寄付、戸隠募金、賛助会費、 賛助会員トレフォイル等
戸隠を想う日	6月8日（月）
グッズ販売事業	年間
賛助会員 トレフォイルの集い	10月10日（土） 東京
財政検討特別委員会	年間
ファンドレイザーグループ の設置	年間

## ガールスカウト日本連盟制定の日

名称	期日
ガールスカウトの日	5月22日（1988年～） 第二次世界大戦の勃発により一時解散しましたが、終戦後、子ども達から喜びや笑顔がなくなってしまったことを憂い、日本女子補導団時代の関係者が1947年（昭和22年）の5月22日に集まってガールスカウト運動を再興すべく、ガールスカウト中央準備委員会を発足させました。この日を記念して5月22日を「ガールスカウトの日」としました。
戸隠を想う日	6月8日（2016年～） 1958年（昭和33年）6月8日に清水総主事・三角主事・洲崎キャンプ委員長（いずれも当時）が戸隠を視察し、キャンプ場の場所を決定する契機となったことから、6月8日を「戸隠を想う日」として制定しました。先人の想いをつなげ、戸隠ガールスカウトセンター維持のために、6月を戸隠募金推進月間とします。
KIZUNA Day	3月11日（2014年～） 東日本大震災の日（2011年（平成23年）3月11日）を、防災の意識や技術を高めるとともに、震災の記憶や復興への思いを風化させない日として、3月11日を「KIZUNA Day」に制定しました。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2020年のビジョン：

すべての少女と若い女性の一人ひとりが尊ばれ、世界を変えるために行動を起こす

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命：

少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2018年～2020年グローバル戦略のゴール：

ゴール1：ガールガイド・ガールスカウト運動の基本理念に基づくプログラムや教育方法を通して、少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する

ゴール2：ガールガイド・ガールスカウト運動の基本理念に基づくプログラムや教育方法を通して、少女と若い女性が世界を変える力をつける

## 創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は、  
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち  
心身ともに健康（Health）で、人に役立つこと（Helpfulness）に  
幸せ（Happiness）を感じることができる市民に育てることである。



ベーデン-ポウエル卿とオレブ ベーデン-ポウエル

## ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)